



January 25.2009

No.98

かがんが

Kanda

議会だより

12月
定例会

一般会計補正予算	3
委員会報告	4
意見書(案)	5
町政を問う(11名が質問)	6~17
委員会レポート(先進地に学ぶ)	18

菟田港から望む 神ノ島



新年のごあいさつ



荻田町議会

議長

武内

幸次郎

謹んで新年の御祝詞を申し上げます。

町民の皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

また、町政並びに議会活動につきましても、常日頃から暖かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、皆様もご承知のとおり、昨年9月以降にサブプライムローン問題に端を発したリーマンブラザーズの経営破綻などにより海外における金融経済危機のありを食い、わが国における経済状況も百年に一度と言われ

る打撃を受け、輸出産業に大きな衝撃を与え、企業の生産・雇用に大きなかけりが現れております。

本町においても、輸出産業であります自動車産業が大きなダメージを受けておりますが、各企業の皆様方のご努力、また、敏速な対応により事なきを得ているところ です。

このように大変厳しい内外の政治経済情勢の中、本町におきましては、限られた財源のなかで効率的な町政運営に努め、町民の皆様が安心・安全・快適に暮らせる、豊か

さと潤いのある町づくりを努めてまいります。

今、政治に真の力と的確な判断が求められています。町議会と致しましては時代即した対応能力を養い、町民の皆様方とともに夢のある明日の荻田町を拓いてまいれる所存でございます。

ここに町民の皆様方のご多幸をお祈りいたしますとともに、本年も相変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶と致します。

集れ!! 丑年生れ



南原小学校 5年生の皆さん

人にやさしい町づくり

井場川架道橋新設工事(工事協定)

4億9,251万円



西側より撮影

完成予想図

至JR苅田駅
←

至JR小波瀬西工大前駅
→



車道部

歩道部

一般会計補正予算 1億9,397万円追加
12月定例会(4日から19日)は
補正予算・条例・町道の廃止、認定・工事協定・
専決処分など可決

総務常任委員会報告



総務常任委員長

坂本東二郎

●平成20年度苅田町一般会計補正予算(第8号)

Q 防犯灯と街路灯の相違は。
A 防犯灯は犯罪防止、安全確保。街路灯は道路照明、美観を考慮。



街路灯

防犯灯

産業建設常任委員会報告



産業建設常任委員長

常廣 直行

●平成20年度苅田町一般会計補正予算(第8号)

Q 公共下水道指定区域で、合併浄化槽を諸事情で設置希望する場合は。
A 7年以上下水道工事が施工出来ない場合、補助対象になる。

Q 間伐業務委託料は。
A 人工造林で15年以上放置された森林が対象。今年度は谷地区の2.9ヘクタール。

Q 公共財産購入費(4号緑地)の利用は。
A 公園的な利用をする。

●苅田町特別会計条例の一部を改正する等の条例の制定について

●町道路線の廃止について

●長畑・松山線の地元説明は。

Q 説明会も開き、個別の説明にも対応している。必要ならば説明に伺う。



長畑・松山線

●工事協定の締結について(井場川架道橋新設工事に関する基本協定)

Q 工事の着工時期は。説明会はいつ行うのか。
A 一月の予定である。業者が決まり次第行う。

●工事請負契約の締結についての議決内容の一部変更について(苅田西停車場線道路改築工事)

●専決処分について(平成20年度苅田町一般会計補正予算(第7号))

厚生文教常任委員会報告



厚生文教常任委員長

小山 信美

●平成20年度苅田町一般会計補正予算(第8号)

Q 介護保険特別会計繰出金の使途は。

A システム改修費。

Q 障害者自立支援特別対策費補助金の詳細は。

A 重度障害者支援体制強化(ケアホーム)の県費補助金。

Q ひとり暮らし高齢者等見守り事業委託料の対象人数は。

A 県事業で、21年度より詳細の把握をする。

●平成20年度苅田町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

●平成20年度苅田町老人保健特別会計補正予算(第2号)

Q 医療給付費と医療費支給費の組み合わせは。

A 高額医療費等の支払い不足。

●平成20年度苅田町介護保険特別会計補正予算(第2号)

Q 介護保険の見直しは。

A 国は、認定調査、介護報酬の見直しを行っている。

●苅田町霊園条例の一部を改正する条例の制定について

●福岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

Q 負担割合の変更理由は。

A 代表幹事会で議論し決定。

●苅田町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について



介護保険システム



第七回定例会

意見書

意見書案第18号

「食の安全確保」への取り組み強化を

求める意見書(案)……………可決

送付先

内閣総理大臣 麻生 太郎 殿
農林水産大臣 石破 茂 殿

意見書案第19号

総合的な経済対策の推進を

求める意見書(案)……………可決

送付先

衆議院議長 河野 洋平 殿
参議院議長 江田 五月 殿
内閣総理大臣 麻生 太郎 殿
総務大臣 鳩山 邦夫 殿
財務大臣 中川 昭一 殿
経済産業大臣 二階 俊博 殿

意見書案第20号

ミニマムアクセス米の輸入を中止し、

再生産できる米価を求める意見書(案)……………否決

意見書案第21号

国民健康保険財政への国庫負担割合を

医療費総額の45%に戻すことを

求める意見書(案)……………否決

意見書案第22号

社会保障費の自然増を

毎年2、200億円抑制する方針の

撤回を求める意見書(案)……………否決

意見書案第23号

国籍法等の改正を求める意見書(案)……………可決

送付先

衆議院議長 河野 洋平 殿
参議院議長 江田 五月 殿
内閣総理大臣 麻生 太郎 殿
法務大臣 森 英介 殿

意見書案第24号

大企業による大量「派遣解雇」をやめ

雇用を守る意見書(案)……………否決

決議書

決議書案第1号

大企業による派遣大量解雇から雇用と

地域社会を守る決議(案)……………否決

人事案件

人権擁護委員の候補者に

清永 彰氏 の推薦に同意。



小山 信美 議員	7
1. 町民サービスのあり方	
2. 危機管理について	
3. 子育て家庭への支援	
梶原 弘子 議員	8
1. 安心して働け暮らせる町政を願う	
2. 環境問題について	
3. 障害者自立支援について	
4. 同和問題について	
友田 敬而 議員	9
1. 世界大不況への対策	
2. 商業活性化への取り組み	
3. グリーンツーリズムへの取り組み	
伊塚 弘 議員	10
1. 子ども達の健全な育成政策について	
尾形 均 議員	11
1. 第3次菟田町総合計画の進捗状況について	
2. 剰余金の運用状況について	
3. 平成17年度請負工事の契約違約金の納入状況について	
木原 洋征 議員	12
1. “教育の町づくり”の取り組みについて	
2. “いのちと暮らしを守る”町づくりについて	
3. 国民健康保険税について	
4. 介護保険について	
常廣 直行 議員	13
1. 平成21年度予算編成に向けて	
2. 地域内分権への取り組み	
松蔭日出美 議員	14
1. 人権啓発	
富安 正直 議員	15
1. 生活排水対策について	
2. 今回の経済危機に対する認識と対応	
坂本東二郎 議員	16
1. 菟田町における緊急経済対策は	
2. 農地の中で耕作放棄地とその対策について	
3. 人権尊重の町づくりの中で自殺対策は	
白石 学 議員	17
1. 行政評価制度について	
2. 良質な水の安定供給について	

(掲載は登壇順)





公明党 小山 信美 議員

フロアマナージャーのあり方

意見を聞き、改善する

- Q 1日の業務時間は。
- A 10回程度。時間の把握はしていない。
- Q 申請書など様式の見直しは。
- A 実施していない。
- Q 職員の意識改革の必要性和、町民の声を聴き改革すべきでは。
- A 町民のニーズを把握する
- Q 1人の業務時間は。
- A 1人でいい、現在は行われていない。
- Q フロアマナージャーの必要性については。
- A 住民サービスの大切さは

- Q 認識している。職員全員がフロアマナージャーのつもりで町民サービスするよう指導している。
- A キッズコーナーの設置は。
- A 必要があれば検討していく。
- Q 職員満足アンケート調査や、第三者による職員の調査をするつもりは。
- A 具体的なやり方は検討していく。

- Q 今後の方向性は。
- A 職場内の工夫、改善の調査を行っている。まずは挨拶ができるようにしたい。
- Q 新型インフルエンザの取り組み
- Q 行動計画はあるのか。

- Q 現在はない。
- A 町民への周知、啓発は。
- A 国・県からの指導がないのでしていない。
- Q 行動計画がなければ周知徹底できないのか。
- A 県と協議し急いでやっていく。
- Q 外出を控える期間や、備蓄品の情報については。
- A 方針を踏まえ対応したい。
- Q 治療薬タミフルの備蓄は。
- A 県で41万8千人分を備蓄
- Q 妊産婦健診の拡充を
- Q 今後の方向性は。
- A 国の動向を見ながら考えていきたい。
- Q 先取りする考えは。
- A 補助があれば、検討をしていきたい。
- Q 町長の危機管理能力を最大限に生かし、町民の命と健康を守る対策を強化してほしい。



母子健康手帳

Q

雇い止めをされた 人達への住宅保障を

A

検討してみたい



日本共産党
梶原 弘子 議員

Q アメリカの金融危機に大きく影響され自動車産業では非正規労働者の解雇数は数万人。自動車10社は27兆円の溜めこみ金等、莫大な余剰金を抱え今すぐ倒産の危険性はない。労働者を品物のように都合のよい時に雇ったり、解雇したりするのは許せない。日本共産党は、トヨタ自動車九州や日産自動車へ実情調査、任期途中の派遣労働者雇い止め中止の申し入れなどを行った。町当局は直接会社に行き実情を聞いたのか。

A 各企業の皆様に会い随時話をしている。担当課は電話で日産、トヨタ、部品関連企業から現状確認をして

Q 解雇者の一人一人には生活がある。しっかり現地に足を運び、首長の立場で実情を訴えることが大切である。

A 法律の枠内でやっている企業活動、どうこう申し上げるのは難しい。

Q 県は今まで企業立地促進交付金や奨励金などを税金から出し、08年度には投資的経費として県予算の15.4%を当てている。このことから社会的責任は重い。町民を守る態度を企業に示すこと。企業に向いて実情を聞くこと。雇い止めをされた人達の住宅問題など、温かい政治をやってほしい。

Q スーパー「キッチンポケット」倒産のため、地域の方達の買物が不自由になった。一民間企業とはいえ、対処は急がれるのではないか。

A 所有者に、引き合いがきけると聞いている。

Q 倒産によって従業員が解

A 知的、身体、精神それぞれ

Q 障害者自立支援法について

Q 日本共産党は障害者の自立に役立たない自立支援法の廃止を望み、人間らしく生きるための新たな法制度をと提案している。法改正によってどう変わるのか。

A 知的、身体、精神それぞれ



改装中の旧キッチンポケット菊田店

雇われている。働いていた人達に不利にならないよう、相談窓口や雇用セミナー等を開いてほしい。

れ得意分野での契約を今後して行くし、その分野だけでなく全体的なものを含んだところでも契約する。

Q 同和問題について

Q 9月議会では同和先進地に学ぶと答弁があったが。

A 特別対策から一般対策へという方向性の中で、各自治体は、その地域の実情を踏まえた取り組みを行っていることを認識した。



清明会
友田 敬而 議員

世界大不況へ、町への影響は

税収面において本年、来年度はない

A

Q

世界大不況への対応は

Q 町の緊急経済対策への対応は。

A 国、県が行う緊急経済対策の周知を積極的に図る。町独自の対応は検討中。

Q 商工業者への融資、公共工事前倒しなど町の対応にスピード感が見られない。

A 配慮が足りなかった。

Q 雇用問題への取り組みは。

A 関係機関と連携して取り組む。

Q 「出張ハローワーク」などが主導権を持った取り組みができないのか。

A 賛同する。検討、協議を行う。

Q 公営住宅の緊急貸し出しは。

A 現在、空室が10軒ある。想定外の出来事で難しい問題ではあるが、ぜひ検討したい。

商業再構築に向けて

Q 町内のスーパーが2店閉鎖した。対応は。

A 現在のところ行っていない。

Q 神田町の店舗は引き合いが来ている。

A 与原店出店への斡旋はできる限りの努力を行う。

Q 今までの商業政策は商業者主体では。今後は消費者主体の商業政策を行うべきでは。

A 今までの政策では限界がある。

見えている。新しい政策を考えていきたい。

Q 緊急経済対策にも入っている農工商連携を行えないか。

A J A と話し合いをしたことがある。今後も考えていきたい。

グリーンツーリズム

Q 白川、等覚寺地区の里山整備計画の位置づけは。

A 観光振興計画に基づき、町民向けだけでなく、広く多くの方に来て利用いただける開発整備を行いたい。

Q 観光振興計画では産業観光がメインになっているのでは。

A 産業観光だけでなく豊かな白川地区グリーンツーリズムと一体となって整備したい。

Q 苅田地区と白川地区の架け橋である京都峠観光整備が課題では。

A 京都峠を含め、一体となった整備ができれば最高である。

Q 京都峠に四季折々に、すばらしい景観を醸し出す、町民に広く呼びかけた記念樹植林事業を行うべきである。

※グリーンツーリズム

農村や漁村での長期滞在型休暇。都市住民が農家などにホームステイして農作業を体験したり、その地域の歴史や自然に親しむ余暇活動。



等覚寺から望む白川地区

Q

子どもたちの健全な 育成政策について

A

個性を大切にせる教育に取りくむ

無党派
伊塚 弘 議員

Q 町の将来と、子どもの健全育成の目標をどのように考え取りくんでいるか。

A 子どもたちが町に自信と誇り、愛着を持つ「かんだっ子」を育てることであり、一人一人の個性を大切にせる教育に取りくんでいる。

Q 具体的には。

A 町独自の教育システムを構築し、他地域からも本町で子どもを育てたいと思いつ移住してくれるような魅力的でかつ先進的な教育環境をつくりあげること。その為、平成17年度から教育改革に取りくんでいる。

Q その教育改革の現状はどのようになってるか。今後の課題は何か。

A 3点の柱で取りくんでいる。1点目は、確かな学力とたくましい心身の育成。17名の町費負担教員を配置し平均30人学級を実現。音楽、体育計7名の専科教員を配置し、情操面や規律面での育成を実施。2点目は、地域に根ざし世界に通じる国際人の育成。4人の外国人講師やA・L・T^{※1}による英語活動やホームステイを実施。3点目は、学校、家庭、地域づくりの推進。青パトや地域パトロール、サタデースクールなど実施。

毎年教育の集いで成果発表。今後は、小・中との緊密な連携を図る。

Q 教育現場の負担について調査し、改革内容も見直す時期ではないか。

A 教育改革そのものが教員に負担となってきたという声もあり、アンケートなどその把握に努め、地域コーディネーター制など整理し、スクールカウンセラーなどを充実させたい。

Q 町独自の習得テストで子どもを3ランクに分けている問題をどう解消するのか。

A 人間関係の構築上大事な部分であり、学習意欲につながる配慮が求められる。

Q 教育改革以外に提案として、民間のスポーツ振興に取りくんでいるクラブなどに行政的評価をすべきであり、また、切れない子どもの育成の為に、セカンドステップ^{※2}というプログラムを取り入れたらどうか。

※1 A・L・T

日本の学校における外国語授業の補助を行う外国語指導助手

※2 セカンドステップ

子どもが加害者にならないためのプログラム



かんだっ子教育の集い



無党派 尾形 均 議員

Q 請負い工事の 損害賠償金について

A 千三百万円の未納

- Q** 平成17年、臨空産業団地造成工事で不正事件発生。業者の損害賠償金は納入されているのか。
- A** 18年3月に800万円納入、その後納入なし。
- Q** この事実をどう受け止めるか。
- A** 1300万の未納金については仮押えをしている。
- Q** 平成18・19年度決算書に
- A** 残金の調停をしている。また、監査の意見書も2年連続指摘している。何故、約3年間も放置しているのか。
- A** 弁護士と相談中である。
- Q** 3年近くも放置していることは職務上、許されない。担保価値、当時は銀行の根拠権の付いた物件等を考えると一刻も早く回収にかからなければならない案件

- A** ではないのか。
- A** 業者が廃業したので慌てたこともあった。
- Q** 職務怠慢ではないか。
- A** 努力が足りなかった点は反省すべきと思う。
- Q** 町の対応は許されない。町民に対し、何千円、1万円のもの督促する。1000万円のもの放置。これでは町民の目線に立った行政、或いは安全安心の町づくりとは言えない。
- A** 努力が足りなかった。
- Q** 完全な職務怠慢である。巨悪は眠らせて、小悪を先に摘もうとする。本末転倒もいいところである。
- A** 積極的な対応が足りなかった。

- Q** 基金50億円、うち財政調整基金等39億円の運用について。銀行定期、国内債権は問題ないが、外貨建て債券は問題では。
- A** 高金利物でも1年間は利息保証、その後は円と外貨の相場で0%もあり得る。
- Q** 期間が長すぎるのでは。
- A** 初年度利息プラス次年度以降利息(約定円安の場合のみ)が約定に達した時点で早期償還である。
- Q** バランスシートを採用すれば時価額で評価する。時価評価額は。
- A** 時価では表現できない。

- Q** 町づくりで今、一番の重
要施策は。
- A** 景気対策である。
- Q** 人口増を目指した定住化
政策と考えないのか。マス
タープランの後期基本計画
では平成22年に4万人に見
直している。実現性は。
- A** 厳しい。
- Q** 基本計画には産業基盤の
整備、住宅政策、教育・福
祉施策の充実による定住化
の推進と書いてある。是非
実行を。



定住化パンフレット

Q 急げ児童館設置

A ニーズ調査を受けて検討



日本共産党
本原 洋征 議員



先進地の児童館

Q 本町でも不審者情報が多く、母親から、「子どもたちの悲惨なニュースを見ていると仕事をやめようかと思うが、やめると生活ができない、6年生までみられる

児童館を早急につけてほしい」と嘆願された。
A 空き店舗、福祉会館の利用について早く結論を出したい。

Q 重度障害者は重複障害があり、負担増ははかり知れず、県内でも無料化が実現しており、本町でも実現を

A 10月以降の自己負担の推移を見て、増えれば考えなければいけない。

国保税について

Q 年収が50〜60万円、低所得者の国保税の引き下げ、1世帯1万円を。

A 昨年度の決算では法定外繰り入れ1億9千万円、5千万円の増は考えられない。

Q 滞納世帯への資格証発行中止を。

A 15歳までの子どもがいる世帯には、病状が深刻化しないように、子どもについ

ては12月1日付で短期保険証を送付した。

介護保険について

Q 3年間で2億円の剰余金が出ていたが、この基金2億円を使って、保険料の引き下げをすべきだ。

A サービスをどの程度するかによって保険料も変わるので、数字的には答えられない。

教育の町づくりについて

Q 片島小の複式解消に向けて、複式解消期成会より陳情のあった、片島の雇用促進住宅への家賃助成を2人目から1万円の増額を。

A どういう方策で複式になるのを防ぐのか、来年度の予算編成に向けて教育委員会と連携し、検討したい。

Q 県からの基準外教員の配置ができれば、町雇用の教員配置を条例改正を含めて検討していくのか。

A 予算や教員など踏み込んで

だ検討はしていないが選択肢の一つとして検討を考えている。

いのちとくらしを守る町づくり

Q 後期高齢者医療制度は7月から普通徴収が始まっているが保険料の滞納が始まっているのでは。

A 7月納期で45名、8月納期で47名、9月納期で54名、10月納期で81名。

Q 普通徴収の滞納状況の実態を調査したのか。低所得者の実態を把握し、払えない人については免除措置をとるべきだ。

A 年明けから訪問等の督促、電話での催告を考えている。



ニューフォーラム
常廣 直行 議員

責任ある決断と 政策遂行の意思表示は 続けて町政を推進し次期選挙に臨む

平成21年度予算編成へ
向けて

Q 世界同時不況下で、苧田町が取るべき政策は、「投資型自治体」であり、予算を使うことだと提言する。民間企業に投資や雇用を期待できない今、自治体が最も安定した投資ができる唯一

A の企業であると思うが。

Q 法人税の減少が予想される。歳入歳出の一体的な見直しと、住民サービスは低下させない予算としたい。

A 平成21年度予算は、地方自治体としての緊急経済対策を織り込む必要がある。その編成方針は。

Q 11月に緊急対策会議を行い整理している。議会終了後、予算化する。

A 将来に希望が持てる事業や、必ず必要になる社会福祉施設、住民要望が強い事業、経済効果が望める事業等、前倒し予算が緊急経済対策となるのでは。

Q 実施するのは難しい面もあるが、前倒し気味に進めていけるよう見直していく。

A 将来推計の高齢化、労働人口、少子化は財政見通しに大きく影響する。実施計画は、将来推計を踏まえた施策に、適切な予算がつけられているのか。

Q 将来推計の手法は取り入れてはいないが、少子化や

定住化対策等を推進し、安定的な財源確保の施策は行っている。

Q 地域内分権への取り組み

A 行政から地域内分権の受け皿である地域コミュニティの再生を、どのように進めるのか。

Q 衰退傾向にある地域コミュニティを住民や各種団体とのパートナーシップ、連携、協力による地域社会を形成しなければならぬと思う。

Q 「地域コミュニティ活性化事業」は、5年前から地方分権時代の到来を示し、地域の主体性、自主性を確立しようとしたが、定着しなかった。その理由は。

A 区の単位が定着しているので校区単位では広すぎた。職員の認識の甘さや、地域の指導者が育たなかったことも要因と思われる。

Q 今後、自治区やコミュニティに権限を委譲し、住

民自治を活発にするための環境作りが必要だが。

A 区を中心として地域を支える環境を作る。区長アンケートの結果、組織の規模見直しは否定的だ。交付金制度の創設は協議をする。



小波瀬区公民館

Q 人権とは、差別とは

A 生まれながら持っている権利、その権利を侵害すること



未来
松蔭日出美 議員

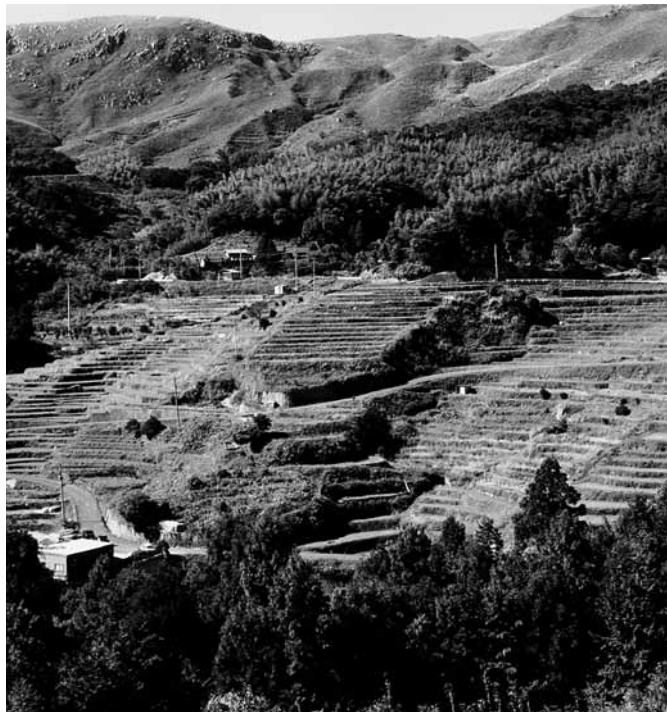
Q 陸前高田市に10年前、永春生元議長につれられて6人で研修に行った。当時の沖元町長に「改革をしませんか」、「すぐやります」と、第一に給食センターです。実行したのが伊塚前町長。命をかけて行財政改革の結果、55億円位の埋蔵金である。さて、人権と差別はどう違うのか、教えてください。

A 人権とは、人間が人間らしく幸せに生きていくための権利、国籍や性別、出身などにかかわらず、誰もが生まれながら持っている権利。

現在の社会にはなお多くの人権問題が存在している。

る。同和問題、女性の人権、子供の人権、高齢者の人権、障害者の人権、外国人の人権、アイヌの人々の人権、H1V感染症、ハンセン病などをめぐる人権問題など多くの解決されなければならぬ課題だと思ふ。

差別とは、すべての人が人間らしく幸せに生きていくための権利、生まれながらに当然持っている権利を侵害することであり、許されないことだと思ふ。



等寛寺の棚田

Q 合併されてから53年たつが白川地域に何ができたか、地域差別をしているのではないか。

A 十分ではないと判断されることがあるが協議をしながら進めていきたい。

Q 荇田町内の小中学校の子供達は宿泊研修の実施場所は、どこに行っているのか。町長の言葉の中に思っている場所があるか。

A 荇田小学校では門司の少年自然の家、馬場小学校は行橋研修センター、南原小学校、与原小学校、片島小学校は英彦山青年の家、白川小学校は香々地青年の家、荇田中学校、新津中学校は久住の牧ノ戸キャンプ場、平成18年度の実績。

今後は、できるだけ早急に空の家、山口分校跡地についてどのようにしていくのか考えたい。

Q 場所がなければ別だが等寛寺というあんなにいいところがある。だから私は地域差別を行政がしていると言いたい。



空の家



ニューフォーラム
富安 正直 議員

A Q

危機的状況にこそピンチをチャンスに変える政治のリーダーシップを

福祉、教育などの住民サービスを低下させない事が大事

危機こそ好機

Q 日銀が発表した12月の日銀短観では、景気判断の目安となる大企業製造業の業況判断指数がマイナス24となり、9月の前回調査から21ポイント低下し、オイルショック以来、過去2番目の悪化、歴史的な景気後退局面を迎えたことが、企業の景況感にはつきりあらわ

れた。また、11月の国内の新車販売台数は前年度同期比27%減と、昭和44年並みの水準まで落ち込んだと報じられた。本町のみならず、自動車産業とともに発展してきた近隣地域にとつて、まさに未曾有の危機的状況なのでは。

A 平成21年3月期の決算は大変厳しい財政運営が想定

される。所得が激変した方や中小企業への対応では国や県が行っている融資制度や雇用支援対策等について、また激変緩和のための町の減免制度等について整理し、広報していきたい。制度改正や新たな予算を伴う施策については、来年度に向け検討をしている。

Q 短期的緊急対策はもちろんだが、数年先の中期的な対策は。

A 平成22年度以降は不透明で、事業の見直し等も含めて考えなければならぬが、教育や福祉施策など住民へのサービスの低下を招かないようしたい。

Q 長野県の下條村では村の

職員数を3分の2まで削減し、公共事業を地域に移管するなどの徹底的な行政改革をし、それで得た財源を若者の定住化対策と少子化対策のため、駐車場2台分の格安住宅を子育て中者夫婦限定で地域活動等に積極的に参加するなどの条件をつけて整備した。その結果、現在は若者も子供もどんどん増えて地域も活性化している。このような政

策で、児童数の減少対策、地域の担い手、定住化対策を行い、ピンチをチャンスにすべきだ。

A 現在行っている少子化対策、また定住化対策としての子育て支援は目立った効果が確認できていない。福祉サービス、教育施策を充実させるとともに、そのような考え方も今後、建設される町営住宅等に、できれば取り入れていきたい。



町営住宅（城南団地）

Q 町の緊急経済対策は

A 国・県の有利な制度を極力活用する



清明会
坂本東二郎 議員

- Q 就労支援対策について。
- A 福岡県が行っている施策の周知を図り、35歳を界に分け各種就職支援を行う予定である。
- Q 農商工連携促進事業についての理解と認識は。
- A 言葉として聞いたことはある。
- Q 国は縦割り行政の壁を超え、農政局と経済産業局が連携して、新たな地域づくりのための事業を応援促進し、志の高い政策であるが、町民に浸透していない。
- A 政策メニューの情報収集に努め、遅滞なく必要な情報を流していく。
- Q 未曾有の経済危機であるから、過去に取り組んだ失



耕作放棄地

- Q 農業をやってみたいと思っている住民は多い。根付けから収穫までの管理指導をし、作る喜びを実感してもらう。賞味してもらう中から、本当の農地のよさが納
- A 以前、町民農園的なものを実験的に行っていたが数年で絶えてしまった。
- Q 農業をやってみたいと思っている住民は多い。根付けから収穫までの管理指導をし、作る喜びを実感してもらう。賞味してもらう中から、本当の農地のよさが納
- A イノシシを資源化するという方向性に向け調査する。
- Q 人権尊重のまちづくりでの、自殺対策について。
- A 以前、町民農園的なものを実験的に行っていたが数年で絶えてしまった。
- Q イノシシの被害で里山地区の農地は壊滅する。食料資源でもあり積極的に捕獲し、処理加工場を作り対応して頂きたい。
- Q 日本では10年以上、年間3万人以上の方が自ら命を絶つという非常に深刻な状況である。原因、背景があつてこういう結果になっているので、しっかり対応し、「北九州いのちの電話」等の相談機関を活用すべきだ。

- Q 業対策事業的なものを、今一度検討してもらいたい。耕作放棄地を借上げし、農業希望者に提供していくことができないか。
- A 得できるのではないかと。耕作放棄地の、未利用農地を活用し住民へ開放するべきだ。
- Q 県では5月1日福岡自殺予防ホットラインを開設し、多重債務や失業、配偶者からの暴力等、さまざまな相談に応じ不安解消を図っている。
- Q 日本では10年以上、年間3万人以上の方が自ら命を絶つという非常に深刻な状況である。原因、背景があつてこういう結果になっているので、しっかり対応し、「北九州いのちの電話」等の相談機関を活用すべきだ。



A いろいろな相談窓口を町民にお知らせするということは非常に大事なことです。



公明党
白石 学 議員

内部評価制度の 進捗状況は 重要な事業を評価する

- Q** 対象事業を選んだ理由は。
A 町単独事業の中で選定をした。
- Q** 事後評価は考えているのか。
A 一番取り組みやすい中間評価から始め、実施する中でいろいろと工夫していく余地はある。
- Q** 評価の公表は考えているのか。
A 制度を運用していく中で、公表の仕方は検討をしている。きたい。
- Q** 情報公開による請求があれば公開するのか。
A 情報公開条例に基づいて求めれば、条例にのっとり対応する。
- Q** 外部評価制度は。

- A** すべての事業に精通した委員を選任できるのかなど難しい課題もあり、導入は考えていない。
- Q** 町長の議会に対する誠実さが感じられない。外部評価が必要では。
A 外部評価は大変難しい。今後どういう評価のあり方がいいのか勉強する。

良質な水の安定供給について

- Q** オゾンを入れておいしい水にする考えは。
A おいしい水10項目をクリアできているので、オゾンは考えていない。
- Q** 高度処理をする考えは。
A 今のところ考えていない。
- Q** 山口ダムについて県との話は完了したのか。
A 県からの譲渡、手続はすべて終わっている。
- Q** 伊良原ダムの負担額はどのぐらい増額したのか。
A 2、127万円の増。



京都岬から山口ダムを望む



現在の二崎浄水場

- Q** 南原浄水場の現在の稼働は。
A 一日当たり8時間程度の運転と、処理水量は日量1,000トン。11月までは毎日運転、12月から2日に1回の運転。
- Q** 南原浄水場の有効利用は考えているか。
A 将来的には二崎浄水場に一本化できればと考えている。



産業建設
常任委員会

歩きたくなる
町づくりプロジェクト

京都市
上京区へ

「おもてなしの心による観
光のまちづくり」を目指すた
めには、住民自らがわが町の
魅力を探り、「暮らしのなか
に伝統と文化の薫るまち」の
取り組みを行政との協働で作
り上げ、地域力を活性化させ
ていかなくはならないと感
じた。

岩手県
滝沢村へ
総務常任
委員会
行財政改革等の
現状と課題について



滝沢村は人口5万3000人を超える
日本一大きい村である。この村が平成18
年11月に日本経営品質賞を受賞した。
本賞は自治体としては初めてであり行
政運営について経営観点から組織改革と
職員の意識改革を波及し住民の行政に対
する満足度を高める手法が評価されたも
のであり主にこの部分について研修した。

先進地に学ぶ

委員会レポート

福岡市へ
愛される
広報誌を目指して
議会広報
特別委員会



毎年恒例の町村議会広報研修会に参
加し、町民のニーズに応える「議会だよ
り」を充実させるため熱心に勉強した。
町民に愛される紙面づくりを目指し、
広報委員一同精一杯努力したい。



厚生文教
常任委員会

子育て支援の重要性

愛知県
飛鳥村へ

子育て世代へのサポート
として、妊婦健診(14回)の
無料化、子どもの誕生から
中学入学まで計30万円の育
児奨励金と就学祝金を支給。
本町も若年層の定住化が
僅僅の課題であり、そのた
めにも生み育てやすい環境
づくりが必要だと思ふ。



新成人430名

本年も新成人による企画運営で、華やかに成人式が行われ、恩師や旧友との再会に時間を忘れ楽しいひと時を過ごしました。



成人式おめでとう



季節の

風景

消防出初め式

寒空のもと、苅田町消防による出初め式が役場前駐車場で行われました。

高所作業車の操作や放水車による放水作業にどよめきが起き、本物の消防車や救急車を目の当りにして、子供たちから歓喜の声が沸き上がっていました。



ぼくのわたしの想う町づくり



「わたしはこんな苧田町にしたい」

苧田小学校 六年 石橋 妃奈子

わたしの理想の苧田町。それは苧田町をエコタウンにしたいです。苧田町といえば、工場のきたないけむりや、海の中のよごれやゴミがたくさんあるイメージが強いです。今、地球温暖化が進んできていることをわたしは知っています。その温暖化が進むと地球がたいへんになります。そのためにも、わたしたちが住む町、苧田町を環境にやさしいエコタウンにしたいと思いました。海もゴミがよく流れているのを何回も見た事があります。苧田町はきれいな町。環境にやさしいエコタウンとして、いつまでもあり続けたいです。



「ぼくは苧田町を有名にしたい」

苧田小学校 六年 信末 悠汰

ぼくは苧田に苧田タワーをつくってほしいです(800m)。東京タワーに負けないぐらいのタワーが苧田町にあればいいと思いました。そして苧田町を苧田タワーで有名にし、他の県のいろいろな人や外国の人達が苧田町と聞いてすぐにわかるような町にしてほしいです。

あと、苧田町に総合スポーツ運動センターみたいなスポーツセンターをつくってほしいです。国際試合ができるようなサッカー場や野球場がいいです。特にサッカー場をつくってほしいです。苧田町をもっともっと有名にして世界の人がたくさん集まる町になってほしいです。

お知らせ

政治家は年賀状等の挨拶状を出すことが禁じられています。

政治家は選挙区内の方に対し、年賀状、暑中見舞状などの時候のあいさつ状(答礼のための自筆によるものは除く)を出すことは禁止されています。

皆さん議会傍聴に来てください

12月議会は
76人の
傍聴者が
ありました

3月定例会の予定

3月3日(火)から
一般質問は3月11日・12日・13日
《開催時間》10時～17時
受付は庁舎6階まで。
問い合わせは議会事務局
093-434-1981

議会広報特別委員会

委員長 井山 信美
副委員長 小川 直行
委員 常原 洋征
委員 木谷 忠明
委員 榎田 敬而
委員 友田 純治

あとがき

明けましておめでとうござい
ます。
▼新春の歓びを吹き飛ばす
何という年明けでしょうか。
百日余り前には誰も予測で
きない大不況が世界を覆っ
た年明けです。▼今こそ、政
治の出番ではないでしょう
か。それもたくましい政治
の松明を赤々と燃やさなく
てはならないのです。▼何
となく、今年はいい事ある
ごとし。元旦の朝晴れて風
なし。啄木。
心機一転への思いもひとし
おの初春です。▼「よい事」
をぐいと引き寄せる年に、
そして町中が素敵な笑顔で
いっぱいになる年に心よ
り願って議会活動を邁進し
ます。▼本年が皆様方に取
りまして幸多き年でありま
すように。

友田 敬而